

「SAFE TOWN in CHIBA（防災フェス）」に出展 bZ4Xを活用した給電実演を行いました

2026年10月6日、千葉市教育会館で開催された防災イベント「SAFE TOWN in CHIBA」に出展しました。「SAFE TOWN in CHIBA」は、防災・減災をテーマに、地域の事業者や自治体、各種団体の取り組みを紹介するイベントで、当日は各団体による展示ブースのほか、防災に関する講演や実演などが行われました。

勝又自動車株式会社のブースでは、ソリューション開発室の電気チームが、トヨタ bZ4Xを活用した給電実演を行いました。実演では、bZ4Xに蓄えられた電気をパワームーバーを使って取り出し、冷蔵庫やパソコン、スマートフォンの充電、スピーカー、電気ケトルなど、身近な電化製品へ実際に給電しました。

EVは、日常の移動手段であるだけでなく、災害などによって停電が発生した際には、車両に蓄えた電気を暮らしのために活用することができます。

今回、実際に電化製品が動く様子をご覧いただくことで、来場された皆さまに「クルマが、もしものときの電源になる」ということを、より身近に感じていただく機会となりました。

勝又自動車株式会社ではこれまでも、災害時の電力供給支援を目的として、停電リスクのある地域の福祉施設へ給電対応車両を配備するなど、地域の防災・減災につながる取り組みを進めています。クルマは、人や物を運ぶだけのものではありません。

電気を蓄え、必要な場所へ運び、必要なときに使うこともできる。電動車の普及によって、クルマが地域のインフラとして果たせる役割も広がっています。

これからも、自動車と電気の双方に関する知識・技術を活かしながら、地域の皆さまの安心・安全につながる取り組みを、ひとつひとつ形にしていまいります。



【お問い合わせ】

勝又自動車株式会社 ソリューション開発室
TEL:043-227-2132